

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構
宇宙科学研究所 助教 公募
「募集要領」

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)は、下記のとおり助教(教育職)の公募を行いますので、広く適任者の推薦、応募を求めます。

1. 公募職種および人数: 助教(教育職) 1名
2. 配属予定部署: 宇宙科学研究所 宇宙物理学研究系

2020年代の宇宙科学をリードするミッションのひとつとして、宇宙科学研究所(以下、宇宙研)は赤外線天文衛星 SPICA¹計画を、欧州宇宙機関 ESA 及び国内外の研究者・機関と協力して推進しています。本公募では、2020年代後半にむけての天文学・宇宙物理学の長期的展望のもとに SPICA 計画を推進する強い意欲と能力を持った清新な人材を広く求めます。

SPICA 計画は、8K の極低温に冷却されたスペース大口径宇宙望遠鏡を実現することにより、宇宙の歴史の中で重元素や「星間ダスト(固体微粒子)」さらには「有機物質」がどのように作られたのか、銀河の形成・進化や様々な惑星の誕生にこれらがどのような役割を果たしたのか、という現代の天文学の中心的課題に挑む計画です。2020年代を通して、高エネルギー現象を対象とする X 線から非常に低温の星間物質などを対象とする電波まで、電磁波の全波長帯域で観測的研究が行われてゆく中で、これまでの衛星と比べて 100 倍高い感度により、SPICA 計画は、ダスト及びガス観測に必須である赤外線波長域で顕著な貢献をしていきます。特に、宇宙史を通じたダストおよびガスの観測を行うことによって、我々の宇宙の多様な姿がどのように作られたのかの解明を担います。

SPICA 計画の詳細については JAXA 宇宙科学研究所 SPICA ホームページ²を参照ください。SPICA 衛星の観測ミッションモジュール(Payload Module; PLM)全体をシステムとしてまとめあげるのは、JAXA 宇宙科学研究所の責任となっています。また、SPICA の

¹ Space Infrared Telescope for Cosmology and Astrophysics

² http://www.ir.isas.jaxa.jp/SPICA/SPICA_HP/

主要な科学観測機器の一つである中間赤外線観測装置 (SPICA Mid-Infrared Instrument; SMI) は、宇宙科学研究所と大学を中心とする SMI コンソーシアムの密接な協力により、その開発が進められます。

本公募では、SPICA による科学成果の創出に向けた研究・開発を行う宇宙物理学研究者を求めます。とくに中心となる職務としては、(1) 中間赤外線観測装置 SMI の開発・製作の推進、または、(2) 観測ミッションモジュール(PLM) 開発・製作の推進、に従事していただくことを予定しています。これまでの研究分野によらず、2020 年代後半における天文学への展望を持ちつつ SPICA 計画を推進する能力と意欲を持った方の応募を期待します。また、JAXA 教育職として、JAXA が果たすべき大学共同利用の役割を理解し、大学等の研究者と協調して研究を遂行するとともに、JAXA 内の各種活動に積極的に参加し、専門研究能力を生かして研究開発やプロジェクトに貢献すること、また、大学院学生の教育・指導に携わることが求められます。

このような業務に鑑み、今回募集する助教は、少なくとも次の要件を満たすものとします。

- 天文学・宇宙物理学研究において優れた実績を有し、2020 年代後半につながる長期的な研究ビジョンを有すること。
- 極低温環境下の観測装置、もしくは、スペースまたは地上における天体観測装置について、開発研究の経験、ないしはそのための資質を有すること。
- 大学院学生の教育・指導を補佐する能力を有すること。

4. 待遇

- (1) 給与: 能力・経験を考慮の上、機構の規定により決定。
- (2) 休日・休暇: 完全週休 2 日制、祝祭日、年末年始、年次有給、夏季、慶弔、産前産後、育児、介護、看護、ボランティア等。
- (3) 始業、終業時刻、休憩時間: 原則、始業午前 9 時 30 分、終業午後 5 時 45 分、うち、午後 0 時 15 分から午後 1 時まで休憩時間 (ただし専門業務型裁量労働制を適用する)。
- (4) 所定労働時間を超える労働の有無: 有 (ただし、専門業務型裁量労働制を適用し、1 日のみなし勤務時間を 7 時間 30 分とする)。
- (5) 勤務地: 相模原キャンパス。
- (6) 任期・定年: 任期なし。63 歳定年制。
- (7) 保有・借上宿舎の貸与: 機構の規定により業務の必要性を鑑み独身用または世帯用を用意することができる (ただし、同一の宿舎に継続して入居できる期間は 7 年を限度とする)。もしくは住居手当の支給が可能。
- (8) 社会保険: 各種社会保険完備 (健康保険、厚生年金保険等)

5. 応募資格:博士号を有すること。

6. 着任時期:決定後できるだけ早い時期。ただし、機構の予算状況により、本人との調整を要する場合があります。

7. 提出書類:

(1) 履歴書

(2) 研究歴

(3) 論文リスト

(4) これまでの研究概要と今後の研究計画(プロジェクトへの貢献と教育活動についての抱負を含む。特に上に挙げた職務内容を念頭に研究計画を述べること。)

(5) 外部研究資金獲得実績(外部資金の種別、金額、研究代表/分担を明記すること)

(6) 他薦の場合は推薦書を提出することのできる方2名、自薦の場合は本人について意見を述べることのできる方2名の氏名と所属、連絡先(電話番号、電子メールアドレス)

(7) 主要論文の別刷り(3編以内)

8. 提出方法

下記 Web サイトから電子的方法により提出してください。

<https://isas-appli-form.jaxa.jp/forms1/1522379110>

提出にあたっては、上記 web サイト上の指示に従って下さい。

upload していただくファイルは全て pdf 形式となります。特に、提出書類(2)から(5)は一つの pdf にまとめていただきます。

他薦の場合、推薦者にて直接、推薦書の web サイトへの upload をお願いすることになります。(入力いただいた推薦者のメールアドレスあてに依頼メールが自動送付されます)

なお、郵送又は持参での提出は、原則として受理できません。

9. 応募締め切り: 2018 年 7 月 2 日(月) 9 時 30 分(日本時間)必着

10. 問い合わせ先:宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所

宇宙物理学研究系 研究主幹 山田 亨

電話:050-3362-2463 E-mail: yamada.toru@jaxa.jp

ただし、上記「8. 提出方法」に関する問い合わせ先:

科学推進部人事係

電話: 050-3362-2695 E-mail: ISAS-JINJI@jaxa.jp

11：卓越研究員制度：本公募の選考は文部科学省卓越研究員制度の選考と両立するようにすすめます。このため、応募者が平成31年4月1日現在40歳未満である場合は、並行して公募される下記HPアドレスに掲載した文部科学省卓越研究員制度にも応募することを希望します。

https://www.jsps.go.jp/j-le/koubo_kenkyu.html

12. その他：選考は宇宙科学研究所宇宙科学運営協議会にて行います。なお、本公募は3名以上の応募により成立し、2名以下の応募の場合は再公募します。

また、選考に伴い発生する交通費・宿泊費については自己負担になります。

宇宙科学研究所は、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

<個人情報の利用目的について>

宇宙航空研究開発機構の職員の公募に関連して提供された個人情報については、採用選考の目的に限って利用し、選考終了後は、選考を通過した方の情報を除き全ての個人情報を責任を持って破棄・消去いたします。